

自治体と連携した中小企業のものづくり支援

－ (株)三機コンシスによる世界初の布ヒーターの開発 －

都産技研は、東京都の産業振興、地域産業の活性化を図ることを目的に、自治体や研究機関、大学など57の機関と包括協定等を締結しています（平成29年8月末現在）。今回は、平成29年3月29日に業務連携に関する協定を締結した江戸川区との取り組みについて、支援を活用して布ヒーターの開発を行った(株)三機コンシスのケースを中心にをご紹介します。

世界初の伸縮可能な布ヒーターの開発をサポート

江戸川区と都産技研は、協定締結以前から連携して江戸川区の中小企業に対し、ものづくり支援を行ってきました。例えば、ヒーターや制御システムを得意とする(株)三機コンシスは、両機関の支援を活用することで、世界初の伸縮可能な布製ウェアラブルヒーターの開発に成功し、製品化しています。

「布のような柔らかいヒーターが欲しいというお客さまの声を受けて開発をスタートさせましたが、縫製技術が問題となりました。そこで、江戸川区に企業の紹介を依頼しました。この他にも江戸川区の助成制度や国内特許の取得支援なども活用して、製品化を進めることができました」(松本 安正氏)

一方、都産技研は試作や性能評価などの支援を行いました。

「開発を進める中で、江戸川区の担当者から都産技研の窪寺主任研究員を紹介され、編機を利用した試作やサーモグラフィーによる布ヒーターの性能評価などを行いました。製品化においてはスピード感が大切です

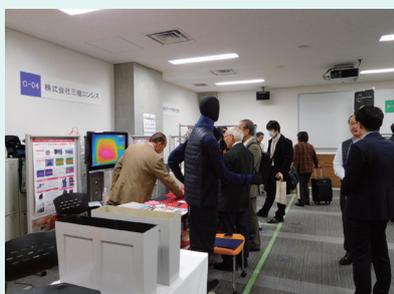


布ヒーターの試作品

ので、都産技研の迅速な対応にとっても助けられました」(松本 正秀氏)

一方、製品化において重要となる販路開拓を目的に、都産技研では中小企業の製品や技術を紹介する「東京イノベーション発信交流会」を2月に開催しました。

「当社も出展しましたが、情報収集よりも、自社の課題を解決できる製品や技術を探しに来ている企業が多い印象を受けました。その場で商談をすることができ、一般の展示会より密度の高い有意義な展示会でした」(松本 安正氏)



東京イノベーション発信交流会

協定締結により支援を加速

協定を締結したことで、より一層支援が拡充しています。江戸川区では、今年度新たに「依頼試験等利用助成金」をスタートしました。これは、都産技研の依頼試験や機器利用などの費用を年間最大10万円まで補助する制度です。

「申請から助成の決定まで、素早く柔軟に対応できるように心がけています」(江尻氏)

また、江戸川区では地元企業のさまざまな相談に対応しています。特

にもものづくりに関しては、専門の相談員が都産技研との橋渡し役となり、緊密に連携して中小企業をサポートしています。

「都産技研は分野が広すぎてどこに相談していいかわからないと言われることもしばしばありますが、江戸川区の中小企業相談室のような窓口があることで、より気軽に都産技研をご利用いただけていると感じています」(窪寺)

今後も江戸川区と都産技研は、両者の強みを活かして地元中小企業のものづくりを支援していきます。



【中左】
(株)三機コンシス
技術開発CTO
松本 正秀 氏

【中右】
(株)三機コンシス
代表取締役
松本 安正 氏

【左端】
江戸川区 生活振興部
産業振興課 計画係
江尻 光 氏

【右端】
複合素材開発セクター
主任研究員
窪寺 健吾

株式会社三機コンシス 会社概要

代表者／松本 安正
設 立／昭和40年6月
所在地／江戸川区中央3-19-4
URL／<http://www.sankiconsys.co.jp/>
主な事業／空調事業、住設事業、製造事業

江戸川区 お問い合わせ

江戸川区 生活振興部 産業振興課 計画係
TEL 03-5662-0525